

小学3年2組 社会科学習指導案

指導者 藤原良平

調べ活動や町探検で作成した松江市の場所ごとの様子をまとめた白地図をもとに、くにびき道路ができる前後の様子を比較する活動を設定したことは、小学校の周りの様子が変わったことを社会的な条件と関連付けて考えることに有効であったか。

1 単元名 もっと知りたい！ぼくらの住む町 松江市

2 単元のねらい

松江市の特色ある様子が見られる場所について、地形や土地利用、交通の様子、主な公共施設や建物の様子、人の様子、古い建造物などを地形的条件や社会的条件に着目しながら調査し、場所によって特色や違いがあることと、その理由について考えることができる。

3 授業の構想

(1) 以下に示すふりかえりは、前単元の学習（附属小学校周りの探検）のまとめとして振り返ったものである。

ふぞく小学校のまわりをたんけんして、たくさん気づいたことがあります。東のほうは人通りの多いところで、西のほうは少なかったです。広い道路だと車がたくさん通っていて、新しいたてものやお店が多いことがわかりました。道路にはすべり止めみたいな、石のようなものがありました。昔からの家が多いところは細い道やうらの道みたいなところでした。古い井戸もみつけました。でもどうして、家が多いところは道がせまかったんだろう。調べてみたいです。またちがうところに行ってみみたいです。（児童A）

前単元の学習では附属小学校の周りの様子をとらえるため、町探検をしながら地図にまとめていく活動を行った。この学習の中で子どもは、附属小学校の周りには交通量が多く、たくさんのお店が並んでいるところ、神社や井戸、酒蔵など古くからある建物が残っていて、住宅がたくさんあるところを見つけた。見つけた特徴を話し合っていく中で、方角や場所によって町の様子に特徴があることも見付けることができた。また、店が集中している地域は道路が広く交通量が多いことや家が集中している地域は道路がせまいというように、社会的事象を関連付けて考える子どもの姿も少しずつ見られるようになってきている。しかし、現段階では場所による違いをとらえながらも、なぜ場所ごとに違いがあるのか、その理由を具体的に考えたり、多面的に考えたりすることが難しい子どももいる。そこで、本単元でも町探検という実感を伴う体験や、互いの考えを出し合い、見つけた事実をつなげたり、比較したりする話し合い活動を繰り返して行う。そうすることで、社会的事象をより具体的、多面的に考える姿や、自分で新たな問いを見だし、探ろうとする姿を期待したい。

(2) 本単元は前単元の小学校の周りの様子を調べる学習から範囲を広げ、自分たちの住んでいる松江市について調査したり、白地図にまとめたりして、松江市の様子は場所によって違いがあることを考える内容である。松江市は南北に山間部が広がり、東西に中海と宍道湖がある。広く平らな土地が広がる田んぼが多い地域や、交通網の便利さから工場が集中している地域などもある。駅周辺や市街地は特に交通が発達しており、場所ごとによる違いが分かりやすい。また、店や住宅が集まる地域が分かれており、人が集まるところと人が住んでいるところといった、人々の土地利用や生活も分かる。子どもたちが、普段の生活では行ったこともない地域があることも予想され、前単元で学習した附属小学校の周りの様

子と比べても、様子が全く違う地域もあり、新たな発見が多く、探求しやすい。そこで、本単元でも高いところから松江市を眺める活動や、町探検、見付けた事実を場所ごとや身近な地域と比較する話し合い活動を単元構成に入れる。実際に見て、調べる体験を積み重ねることで、場所ごとの様子の違いについて問いをもち、自ら探求しようとする力を身に付けることができる。また、話し合い活動を設定することで、普段の自分の生活と照らし合わせながら場所ごとの様子について考えたり、資料や体験をもとに根拠をもって自分の考えを伝えたりする力を伸ばすこともできる。そして、社会的事象と自分との関わりに気づき、社会的事象を自分のこととして、探求しようとする力を身に付けることができる。

- (3) 本単元を展開するに当たっては、「なぜこの場所はこんな様子なのだろう」といった問いや「こんな理由があるからだろう」といった人々の土地利用や生活の様子を根拠にして自分の意見を伝えるような追求する姿を大切にす。そのために、子どもの松江市の様子に対する問いをもとにした単元を貫く課題として、「学校の周りよりもっと遠くの場所はどんな様子なのだろう」を設定する。また、毎時間の学習で新しく分かったことや、不思議に思ったことを視点にふりかえりをし、子どもの問いを次時の学習につなげていく。

第1次では山陰合同銀行本店ビルから松江市の中心付近の様子を眺める。前単元の学習をいかし、方角ごとの様子や交通網に視点を置いて、比較しながら見学を行う。その後、実際に見付けた特徴を話し合う。この話し合いの中で、子どもたちは山陰合同銀行本店ビルから見えなかった地域についてはどんな様子なのかを知りたくなるだろう。そこで、第2次ではバスを使った町探検活動を行う。ここでは松江市の白地図をもとに実際に見てみたい場所を自分たちで決める。その際、地形だけでなく、生活している人々の様子にも着目しながら場所の様子について予想を立てる。そうすることで場所ごとの様子の違いだけでなく、どうして違うのかという理由についての視点をもちながら白地図にまとめることができる。その後、町探検をして見付けた松江市の特徴的な場所についての話し合いを行う。ここでは、前単元でとらえた附属小学校の周りの様子と比較し、共通点や相違点を見付けていく。その際、場所の様子が共通しているところがあるのはなぜかと問いかけることで、場所ごとに違いがある理由は、人々の土地利用や生活の様子に根拠があることについて意識をもてるようにする。

本時では、くにびき道路ができる以前の学園の様子がわかる資料を用意し、様子の違いとその理由について話し合いを行う。過去の様子と比較する際、様子が変わった理由に目を向けるように問い返すことで、人々の土地利用や生活の変化について考えられるようにする。そうすることで松江市の場所ごとの様子の違いについても人々の生活が関係しているということに気がつくようにしたい。また、時代によって人々の生活が変化することで場所の様子が違うことをとらえ、これからの松江市もきっと変わるであろうということについても意識を向けることができる。学習の中で子どもたちが考えた様々な意見を価値付けながら、松江市の様子と自分との関わりについて気付くようにすることで、これからの自分のくらしや生き方につなげていけるようにしたい。

4 展開計画（全14時間 本時13/14）

次	主 な 学 習	時	具体的な学習・内容
1	学校の周りより遠くに見えるところはどんな様子なのだろう。	1 2・3 4	・前単元で作った学校の周りの地図や町探検を振り返り、お互いの生活体験を伝え合いながら、松江市の様子について考える。 ・山陰合同銀行本店ビルから町を眺め、付近の様子を調べる。 ・市の中心付近の様子について伝え合う。
2	松江市の様子を知るために町探検に出かけよう。	5～8 9・10	・バスを利用し、松江市内を町探検に行く。 ・場所ごとに見付けた特徴を白地図にまとめる。

3	松江市ってどんな場所があるのだろう。	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・見付けた特徴をもとに松江市にはどんな場所があるか話し合う。 ・学校の周りの地図と比べながら共通点や相違点について考える。
4	松江市は場所ごとにどんなふうに変わっているのだろう。	⑬ 14	<ul style="list-style-type: none"> ・くにびき道路ができる前と現在の学園の様子を比べながら、町の場所ごとの違いの理由について考える。 ・だんだん道路の開通から、これからの松江市の変化を考える。

5 本時の学習

(1) ねらい

くにびき道路ができる前と現在の学園の様子を比較しながら変わったことを考え、土地利用の違いは道路や交通、人々の生活といった社会的な条件が関係していることに気付くことができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
1. 松江市にはどんな場所があったか振り返る。 2. くにびき道路ができる前の地図を見ながら、今の様子との変化について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・今お店がたくさんあるところは、昔は一面田んぼだ。 ・今の地図には広い道路があるけど、昔はないぞ。 ・西側のあたりは今と同じで家がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに作成した地図を見ながら、松江市にはどんな場所があったのか具体的に振り返ることができるようにする。 ・現在の学園とくにびき道路ができる前の学園の地図資料を提示し、様子の変化について具体的に考えられるようにする。 ・「変わっているところ」と「変わっていないところ」を整理しながら板書し、様子の違いと理由について意識が向くようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">昔と今で、かわっているところとかわっていないところがあるのはなぜだろう。</div>	
3. 町の様子が違う理由について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路ができてお店がたくさんできたから人が集まったと思う。 ・家が集まっているところは昔から人が住んでいて、ずっとあるから、道路は作れなかったんじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通、建物の違いから、生活している人々に着目することで、町の様子の変化と理由について関連付けて考えられるようにする。 ・松江市の他の場所についても、社会的な条件に着目して考えることで、場所の違いには様々な理由があることに気付くようにする。
4. 本時を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で、町の様子が変わったのは、広い道路やお店ができたり、人が集まったりしたからということがわかりました。松江市には交通が発達しているところや工場が多いところなど、いろいろな場所があるけれど、様子が違うのも、人の生活が関係しているんだなと思いました。これからどんなところが変わるのか、見つけて考えてみたいです。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">— 評価の観点（社会的な思考・判断・表現） —</p> <p>土地利用の違いについて、道路や交通、人々の生活といった社会的な条件が関係していることを考えている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 発言・ワークシート】</p> <p>支援</p> <p>様子が変化した場所に着目し、人々がどんな生活をしているかを考えるようにする。</p> </div>

(3) 本時で目指す子どもの姿

◎町の様子の変化について、道路や交通、人々の生活といった様々な社会的な条件の視点を持ち、自分なりの根拠をもって理由と関連付けながら考えようとしている姿